

# 蓬萊町だより

日会部  
町部  
三月三十日  
第七卷  
四月  
成者  
發行  
平集  
編者

年輪を重ねて（最終回）

内海 元

（根津神社名譽官司）

## 社殿を復興して

いま、根津神社の鎮座しているところは元の徳川綱重公の邸跡で、それまで神社は団子坂上北側に鎮座していたのをお移したものであります。

そもそも綱重公はつつじを愛され、邸内は立派なつつじで埋めつくされ、この根津神社の新鎮座地は「つつじが岡」といわれておりました。しかしそのつつじも段々減って、戦前私が記憶するところではたった一本、みごとなつつじが残っていました。それも戦争の頃なくなり、復員時の御社頭の景観は全く荒れ果て、どうしようもない状態でした。私は御社殿の復興と同時に、境内の往年のつつじが岡を再現して、由緒ある境内にしたいと考えていました。茫々たる御社頭を眺めながら考えた夢でしたが、私は

必ずいつの日にか実現する確信のようなものがありました。根津神社の御社威と、氏子に住む人々の変らぬ信仰心とに自信を持っていましたから。小学校の頃から神社の子としてこの地に住んでいた神職の持つ強みですね。

## 境内つつじ苑

非常な困難を押し御社殿をはじめ諸建造物の整備が済む頃から、私はつつじ苑の復旧を志し、境内に新しいつつじをせせと植えました。氏子の皆様も協力してくれました。つつじは、どんどん増えて、遂に昭和四十三年に第一回のつつじ祭りを齎行いたしました。

氏子の皆様方が境内にきて楽しむばかりでなく、今は各地から見物にやってくる方々が増加して、四月下旬から五月上旬まで、もう二十三年になります。今年六、七十万人の方が参拝されて見物していかれました。数は三千五百本、種類は四十種位になっています。

## 思い出と将来

まあこのような次第で現在までの自分史を大急ぎで語ってきました。生きてきた足跡は振り返ってみると懐かしいのですが、振り返る頃になると忘れてしまったこと、あいまいなことが多くなってしまうものですね。

しかし、東京に生れ、東京で神社奉仕を一生

つづけ得たことは、苦勞も沢山ありましたが満足すべき一生だったと思います。このようなインタビューをうけると、しみじみと感ずるものです。

最近、根津、千駄木をはじめ当地の氏子も都心である故か変わってきて、私共は総代さんなどと協力して、新しく住居を構えた人々に氏子になつていただくために懸命に努力したりもしていますが、このことは裏を返せばこの辺では、戦前からの地域共同体、江戸風情が変ることなくつつじ、現代流の個人主義、閉鎖性に浸されていないということにもなりますね。

神社庁の理事や支部長などの役員を何度もやらせていただいたり、神職さん方の会合で様々の話を聞きました。鎮守にとって、昔ながらの氏子さんが生きているということは大切なことですね。

神社はあまり強引に事を運ぶより、自然に神社に接するうちに人々が信仰心を持ち、神社を中心に町がまとまっていくように努力するのが、いつの時代でも大切であると思います。

あなたがたの神社新報も、そのような面では大切な神社界の機関です。近代化の波だとか、時代の流れだとか言われますが、ともすれば人々の心がバラバラになりがちな世代の中で、あまり力まなくて良いから、鎮守様に人々が自然に集まってくるように力を入れて貰いたいと思

います。

最後に、この一生を振り返って、私を支えて下さった氏子の方々、また先輩、同輩、後輩の人々に心から感謝を述べたいと思います。そして生ある限り、後進の活躍を祈りつづけ、落着いた人生を送りたいと思います。

### 心に憶うこと

高橋 一郎

方丈記に「行く川の流れば絶えずしてしかも、元の水に非ず 淀みに浮ぶうたかたはかつ消えかつ結びて久しう留まったるためしなし世の中にある人と住かとまたかくの如し」と言っております。

私が蓬萊町に住むようになって今年で丁度四十年が経りました。その半世紀に近い間に私の周囲に起った様々な事柄の余りにも多いのに我ながら人生の変遷の激しさに驚いております。蓬萊町に来て私が御交誼を頂いた沢山の方々が既に遥か黄泉に旅立たれた事の多いのに私は泌々と生者必衰の定めを痛い程に知らしめられております。洵に朝に生きて夕べに死すの理りは人の世の哀歎交々という所です。

人生八十歳といわれる今日ではあるけれど、その言の葉に樂觀する事なく一日一日を大切にしておいて町会の皆様と共に楽しみを承えられるよう心しなければと思う今日この頃です。町会の

皆さんどうぞ自分を大事にされまして人生の喜悅を十分に味わいられん事を念じます。

最後に皆さんなんとしても交通災害には絶対に遭はないようお願いします。

### 九二年の防犯部

橋 本 明 昭

今年の梅雨は陽性型の様子で、集中雨の後に真夏の空になり、日陰にはいると爽やかな風を誘い、つい眠気を起します。むし暑くシトシトと降る六月の雨はもう昔の事に思われます。今日のようにエアコンが普及している現状では開け放しの家はあまりみられません。かえってと云って防犯上安全とは云えません。かえって施錠しない軒数、出入口等の開け放し軒数と考える方が当たっているかも知れません。

警察防犯課の広報にも留守でなくても施錠の習慣が必要とのPRが盛んに行われています。そして出来ることなら二重ロックにすれば被害の率はぐっと低くなることも統計では表われているそうです。これはなにも家を対象としただけではなく犯罪を未然に防ぐ意味で、一人一人が心の隙を作らない事が肝要です。

今期神保防犯部長の後任を受けて微力ながら心身共に此の任を全うしていく所存ですが皆様方の尚一層の御協力をお願い申し上げます。御座居ます。

### 町会活動の概要

#### 総務部

平成4年5月下旬から平成4年7月上旬まで

5/22 文京区町会連合会より表彰される。

左記の方々が町会事業に貢献された功績により文町連の表彰を受けられましたのでお知らせ致します。

堀江頼治様、山本宇一様、神保昌子様、樋口キミ様

6/12 本駒込駅対策協議会(地下鉄)開催される。

※当地域の駅舎内コンクリート打ちは6月中旬に終了する。

6/27 平成3年度、蓬萊町会総会、開催される。

平成3年度、事業報告並びに決算報告は、報告の通り可決され、合わせて平成4年度の事業計画及び年次予算も承認されました。決算書並びに予算書は本誌頁末に掲載してございます。

7/上旬 既にお聞きお呼びの事と存じますが、シビックセンター建設に伴う電波障害発生地域の有線による除去対策実施にあたって事前に提出して戴く同意書と説明書を担当地域の役員が持って伺います、その節には宜しくご協力下さい。

北部役員の一部交代について

旧 小林佐一郎様、新 高木健治様、

平成4年6月付

防火防災部

6/7 向丘地区防災講習会、開催される。

文京区役所、本郷消防署、本富士警察署、共催により六中校庭にて防災講習会が行われました。この様な行事には皆様宛に回覧によってお知らせとご参加を呼び掛けておりますが、一向に参加して下さる方がおられません。

貴重な時間を割いてご参加願うのは誠に心苦しいのですが、災害はいつ起こるか解りません、いざと言うときに慌てずに又、的確に対処出来る様に、普段から防火、怪我人の救護等の知識を身に付けて戴く為にも是非参加をお勧め致します。

防犯部

防犯部長交代のお知らせ

旧 神保三郎氏 新 橋本明昭氏、

交通部

5/21 駒込交通安全協会、総会、

三宅交通部長出席

文化部

5/30 「蓬萊だより」第32号、発行しました。

婦人部

「廃品回収事業」につきましては、いつもながら町内皆様の暖いご支援を得まして、月一回ではございますが極めて円滑に事業が遂行されております。

6/25号の区報でご存じの様に、「廃品回収事業」は東京都の所管から7月1日をもって区の専管事業に移行するとの内容ですが、町会で行っております現在の事業形態には、今のところ何等変わりはありませんので従来どおり「新聞紙」「本、雑誌」「衣類」を指定日にお出し下さる様お願いいたします。

「ごみ」の減量と資源の再利用を図るためのリサイクル運動であれば、もっと幅広く活用できる品目を取り扱うべきと考えますが、区側の対応としては現状維持との事でございます。この事業が区の強力な指導力によって、今後益々拡大発展する事を当町会としては期待しております。

青年部

町内神輿の担ぎ手

是非ご参加下さい

今年には根津神社の本祭りがございます、従いまして当然町内として神輿の渡御を行うことになりませんが、皆様もご存じのように担ぐ人が集まらないのに大変苦慮しております。

大人神輿は、挙げるために最低30人は必要です、更に長丁場を巡行するための交替要員が2組程度、合わせて70人から90人位の担ぎ手が集まり

ませんと満足な渡御巡行が出来ません。

この点を充分ご理解下さいまして、ご子弟のご参加を是非お勧め願いたいと存じます。

「腕に覚えあり」と言う方は勿論、生まれてこのかた神輿など担いだ事が無いと言う方も是非お力をお貸し下さい。

大人神輿渡御日時 9月20日(日)

午後2時〜7時まで

訃報

当町会にお住まいの方で、本年5月下旬から6月までの間にご逝去された方々のご氏名は左記のとおりでございます。

謹んで哀悼の意を表し、ご冥福を祈念申し上げます。

記

金子恒一様、森本晋一郎様

編集後記

梅雨もあがって、これからいよいよ夏本番の季節になってまいります、子供達にとっては待ちに待った楽しい夏休み、暑い最中ですが、ご家族連れでの旅行など楽しいご計画を立てておいでな事でしょう。

初秋に入りますと今年には根津神社の例大祭、町会では今から祭礼の準備に取り掛かっております、何かと会員の皆様にはご散財をお掛けする事になりますが、ご支援助ります様お願い申し上げます。

編集委員 前号と同じ

平成3年度 決算報告書

決算期間 平成3年4月1日から平成4年3月31日まで

収入の部			支出の部		
科目	金額	摘要	科目	金額	摘要
繰越金	121,815	区より	総会費	230,000	会場、飲食費
町会費	1,695,400		会議費	64,102	役員会、茶菓子
補助金	163,904		総務費	161,240	部の活動研修
寄付金	155,000		渉外費	219,850	団体会費等
雑収入	260,835		備品費	90,570	維持、購入費
銀行利息	5,366		事務費	147,992	事務付帯費
			通信・交通費	126,900	通信、交通費
			電灯費	38,627	防犯灯維持費
			防火・防災部	130,119	部の活動費
			防犯部	38,330	"
			交通部	56,010	"
			衛生部	0	"
			文化部	130,880	"
			婦人部	199,775	"
			青年部	302,016	"
			慶弔費	85,300	"
			消耗品費	7,410	
			防災・積立金	200,000	
			繰越金	173,199	
合計	2,402,320		合計	2,402,320	

平成4年3月31日  
 収支決算について上記の通り報告します。  
 上記の決算に相違無い事を証明します。  
 ☆平成3年度末に於ける防災積立金の現在高

会長 広 沢 長次郎◎  
 会計 川 西 正 造◎  
 監査 竹 中 一 馬◎  
 ￥ 1,952,552円

平成4年度 予算表

予算執行期間 平成4年4月1日から平成5年3月31日まで

収入の部			支出の部		
科目	金額	摘要	科目	金額	摘要
繰越金	173,199	前年度繰越金	総会費	250,000	会場費、飲食費
町会費	1,700,000	区の補助金	会議費	70,000	会議、茶菓子
補助金	162,000		総務費	250,000	部活動、研修
雑収入	200,000	銀行利息	渉外費	230,000	団体等の会費
利息	5,000		備品費	100,000	維持費、購入費
			事務費	150,000	事務用付帯費
			通信交通費	130,000	通信交通費用
			光熱水費	40,000	防犯灯電気料
			防火・防災部	70,000	部活及び研修
			防犯部	60,000	"
			交通部	100,000	"
			衛生部	10,000	"
			文化部	200,000	"
			婦人部	200,000	"
			青年部	300,000	"
			慶弔部	60,000	
		消耗品費	10,000		
		予備費	10,199		
合計	2,240,199		合計	2,240,199	

町会会員各位 殿

平成4年6月27日

蓬萊町会